

---

## QA28 微量の尿中セシウムによって膀胱がんが増加するのですか。

---

尿中セシウムによる膀胱がんの発生については、世界保健機構（WHO）並びに国連科学委員会（UNSCEAR）の報告において、チェルノブイリ原発事故による放射線被ばくによる健康影響では小児の甲状腺がん以外の根拠はないと結論付けられており、これが現在の世界的な多数意見です。微量の尿中セシウムによって、膀胱がんが増加したり、膀胱がんに進展する膀胱炎が起こったりすることはないと考えられます。

また、セシウム 137 が 6Bq/L 存在することによる膀胱の被ばく線量は、自然放射性物質で通常我々が受けているカリウム 40 による被ばく線量のおよそ 20 分の 1 程度です\*。

参考：放射線医学総合研究所「尿中セシウムによる膀胱がんの発生について」

[http://www.nirs.go.jp/data/pdf/i5\\_4.pdf](http://www.nirs.go.jp/data/pdf/i5_4.pdf)

---

出典：放射線医学総合研究所ウェブサイト「放射線被ばくに関する Q&A」より作成

出典の公開日：平成 24 年 4 月 13 日

本資料への収録日：平成 24 年 12 月 25 日